

吉田コミュニティだより

令和7年度

2月号

発行：吉田地区地域コミュニティ運営協議会事務局

0954-43-9380

「なんでんかんでんふるさとトーク」開催！



2月10日（火）に、「なんでんかんでんふるさとトーク」を開催しました。これは深川祐次郎総務広報部会長の発案で、吉田に住む皆さんの日々の暮らしの中での気づきや、生活をより良くするための思い付きなどを車座になって、気楽に語り合っていたらという企画でした。

自由な発言の中で他の人の意見によって、自分のアイデアなどがより深堀できたり、同じ考えの仲間を見つけたりできることを期待しての開催でした。

30人の参加者は3グループに分かれ、それぞれに外部から迎えた座長を置きました。1グループの座長は中林正太さん（ハッピーケアライフ社長）、2グループは久野裕子さん（元嬉野市地域おこし協力隊）、3グループは音成信介さん（音成印刷社長）でした。三人とも、地域おこしイベントに関わることも多く、経験豊富で、笑顔あふれる和やかな雰囲気、進行をしていただきました。



最初の1時間は、井戸端会議の様相の車座によるなんでんかんでんトークの時間でした。自己紹介から始めたり、吉田のおすすめポイントの紹介から始めたりと、それぞれの方法でいろいろな話を引き出して、盛上げていただきました。

そのあとは、座長によるグループごとの報告になりました。

他のグループの話の中身を知ったり、座長の皆さんの印象をお聞きしたりして、トークを締めることができました。各グループ報告と取りまとめは裏面に記載しておりますので、ご覧になってください。



「話されたことが、すぐ実現できるとは思わないが、こうして吉田のことを話す機会を得て、よかった。」という感想をお聞きして、主催者もほっとしたところです。

グループごとの座長による報告と取りまとめ

1 グループ (中林さん) 課題としては、高齢化及び空き家の増加と子どもの姿が見えにくくなっていること。それでも、放課後に力いっぱい走り回る子どもたちの姿に元気を貰える。地域の大人たちが子どもたちを見守るという姿の半面、いつも挨拶をしてくれる大人の姿が見えないと「あの人どうかしたのかな？」と心配することが家庭で話題になったりしているという。双方向の見守りの形がある。「泥んこビーチバレー」や「おやまさん」だったり、太鼓の音色なんかを懐かしく思うことがあり、復活を望むが、難しいことも理解している。今回のトークは、いろんなことを話して、何かが始まる場所として貴重で、有意義なものになった。

2 グループ (久野さん) まず、自己紹介がてら自分の好きな吉田の風景を教えてもらった。いろんな山の名前が出てきた。朝夕に眺める山が好きで、吉田は自然豊かである。課題としては、通学路の白線が消えていて、子どもたちはもちろんウオーキングの大人も危ないと感じる、解決策として多方面にこの実情を知ってもらうことも大切と警察にいわれた、それと高齢者がゴミ出しに苦労している、なにか軽減する工夫はできないかという話。また、吉田には子どもが遊ぶ公園が少ない、かつて自分たちは山や川が遊び場になっていた。すぐ公園を作るのは、難しいので、ダムも含めて山や川で安全に遊べる仕組みを考えたらどうか。若い人が外に出て行ってしまふ。外から来る移住者との関わり方やいったん外へ出た子どもたちが戻ってくる環境整備の中で空き家活用なども考えてよいのでは？

また、泥んこビーチバレーは楽しかったよねという話も出た。ほかにもいろいろな団体が活動を担っていたが、中止になったものも多い、復活は難しい。結婚問題がある。婚活パーティの受け皿として「消防団」はどうだろう。その前段としてマナー講座などの準備も必要なのではないか。

3 グループ (音成さん) まず吉田のいいところを教えてくださいというところから始めた。好きな風景、西吉田から見る皿屋の煙突や鳥越トンネルを抜けてから見える東吉田の田園風景がめちゃくちゃいい。唐泉山が吉田の校歌、校章になっているほどなじみ深いもの。各地区の歴史がびっくりするぐらい深い。東吉田に山城があったり、両岩には物見やぐらがあったらしいとかは、吉田生まれの人にも知らない情報。孕み地蔵は県内外からの信仰を得ている。深い歴史が印象的であった。百年桜は県内外で有名だが、地元の人には近くの横竹ダムに行ったりする。面白いひとはいますか、という質問に深川さんが吉田で一番面白いと聞いた。歴史のことなどは子どもたちは知らない。この深さや面白さを子どもたちに知ってほしい。グループに吉田女面浮立の方々がいた(女性が演じるのは珍しい)。

まとめ

(中林) 思った以上に自分が思っていることを話してくれて、座長として進行に苦労することもなかった。みなさんが、このような機会を求めていたことがわかった。深川さんの思いが、これから繋がっていくことができれば。具体的に婚活の話もあったが、吉田になにか生まれていけば素晴らしい。

(久野) 印象として、吉田は歴史的にもおもしろいことがあった地域だと知った。吉田らしさの地域資源がたくさんある。どろんこビーチバレーに思い入れがあるようだったが、大変さが上回っているようなので、これ以上は言いません。

(音成) それぞれが秘密スポットを持っている。共有して深堀すれば、なにか形になるような気がする。それは次のトークに繋がる材料になるのでは。東吉田の山城に行ってみたいが、藪のなかで難しいと言われた。若手の協力で草刈りイベントなども考えられる。